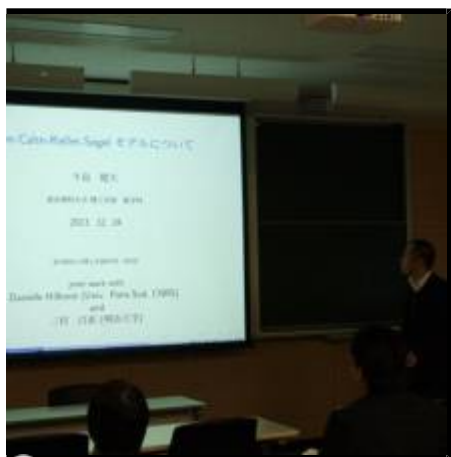


第15回

- 講演者：牛島 健夫 氏（東京理科大学）
 - 題目 Allen-Cahn-Keller-Segelモデルについて
 - 日時：平成25年12月24日（火）16：30～17：30

細胞性粘菌は特徴的なライフサイクルを持つことが知られている．我々は，このライフサイクルの早い段階における細胞性粘菌の挙動（パターン形成とパターン変化）を研究するための偏微分方程式モデルを導出した．我々はこのモデルを Allen-Cahn-Keller-Segelモデルと呼んでいる．本講演では，この偏微分方程式モデルの導出と，この方程式に対して得られた結果をお話したい．本講演は，三村昌泰氏（明治大学）およびDanielle Hilhorst氏（Univ. Paris-Sud, CNRS）との共同研究に基づく．



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

42 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2013/015>

Last update: **2017/11/16 19:08**

